

地域活動への参画・協働から新しい学校の姿を求める

奈良県五條市

活動名

五條西中コミュニティ協議会

関係する学校

五條市立五條西中学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 10人	開始年度 20年度	補助の有無 有
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

○本校では、平成20年度より「五條市学校支援地域本部事業」の指定を受け研究実践を行った。一定の成果とともに課題も見えてきた。具体的には、「人間関係をうまくとれない」あるいは「コミュニケーション能力の不足」、「煩わしいことに関わることを避ける」などの傾向や、規範意識の低下が叫ばれる中、その根幹となる家庭教育が果たしてきた役割の弱さも見てきた。そこで、「本部事業」を継承しつつ一層地域住民やボランティアの人材を活用し、「地域と共にある学校づくり」を目指した取組が必要と考え、五條西中学校コミュニティ協議会を組織し、4つの委員会を設け活動を行った。

- ①地域活動委員会
 - ・グリーン活動、除草作業、地域の祭り等への参加
- ②安心・安全委員会
 - ・子ども見守り隊、登下校時の交通安全指導、地域駐在所等との連携
- ③未来委員会
 - ・学習や部活動支援、社会科授業支援、キャリア教育支援、オープンセミナー
- ④さずな委員会
 - ・老人福祉施設への訪問・交流、校種間連携・交流、部活動の合同練習

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- 隣接する特別養護老人ホームとは開所以来様々な交流を深めてきたが、運営する社会福祉法人と連携協定を結び、より深い交流を目指している。福祉や介護のスペシャリストとの交流を通して、人間の優しさや思いやりの心、自分らしく生きぬく力を育むことを目的としている。
- 学校生活の基本は「あいさつ」と捉え、他人の思いに共感でき、なかまと共に生き、思いやりや温かさのある生徒の育成に努めており、その手立てとして①生徒会活動による地域連携の推進(グリーン活動や「MAKIまつ」への参加)。②地域活動としての通学指導(見守り活動)。③保護者を対象とした家庭教育学級(小・中・高の合同講演会)を実施した。

【実施に当たっての工夫】

- 「地域と共にある学校づくり」を進める上において、学校と地域が互いに当事者意識をもって熟議・協働を進めるためにはボランティアを始めとする地域の支援が欠かせない。そこで地域の支援を一層充実したものにするために、以下の取組を行った。
 - ・各代表者を対象に学校行事や地域行事等の理解に向けた説明会の実施
 - ・熟議を重ねながら学校・地域との協力体制の構築
 - ・校区の小学校や高校との連携及び交流
- 地元自治会が主催する秋祭り「MAKIまつ」に向け、学校・地域が企画段階から熟議を重ねるとともに、生徒たちは生徒会を中心に地域と共に出店する模擬店の設置や運営ボランティア募集を企画するなど地域行事への参加を進めた。また、校区の学校や地元と連携したグリーン活動や除草作業などにも積極的に参加した。



老人福祉施設との連携事業

● 事業を実施して

- 生徒会を中心に多くの生徒が意欲的かつ積極的に地域活動に参加できる意識が芽生えた。また、普段接することの少なかった地域の方々とコミュニケーションを図りながら、同じ時間を共有することで相互理解と協働による地域連帯感の醸成につながった。
- 地域活動への関わりを通して、自分の存在を価値あるものと感じるなど自尊感情が高まり、何ごとにも積極的に関わろうとする気持ちが強くなった。
- 学校教育活動に対する理解が深まり支援の輪が広がった。



「MAKIまつ」と実行委員会